

横越

第24号

平成29年10月1日
(2017)

コミュニティ協議会ニュース

発行 横越コミュニティ協議会
事務所 江南区横越出張所
新潟市江南区横越中央1丁目1番1号
電話 025-385-2111



ご挨拶

横越コミュニティ協議会

会長 佐藤 正明

本間前会長から引き継ぎ、会長になりました佐藤でございます。前会長の実績を踏まえ、さらなる横越コミュニティ協議会の発展を目指し、努力していきます。皆様のご協力をお願い申し上げます。



小阿賀花嫁大賞「祝船」 西山雅之さん



猛暑の中の一生涯懸命作業する中学生たち

五月の総会で活動方針の決定を頂き、早速六月四日には第四回「水郷の花嫁さんは舟で行く」を実施致しました。小阿賀野川の堤防には、大勢のカメラマンや、見物客でいっぱいでした。

八月六日は、猛暑の中、横越中学校の生徒と、小中学校の教職員や行政職員、コミ協役員による「横雲通りピカピカ大作戦」を実施し、横雲通りの街路灯磨きをして頂きました。夜の横雲通りはピカピカに光り輝いております。

また、横越コミ協では、一昨年より新潟市から老人福祉センター「横雲荘」の指定管理を受けており、利



「お〜うん」で開催した作業療法士による相談会

用者第一の運営を行っております。

今年の三月には、横雲荘施設の一部を利用し、新潟市地域包括ケア推進モデルハウスとして、江南区地域の茶の間「お〜うん」を立ち上げました。毎週火曜日と木曜日の週二回開催しており、多数の参加者で賑わっております。

課題も多くありますが、行ってみたい「お〜うん」を目指して、皆様からの提案を頂きながら運営をしていきたいと考えております。

横越コミ協では、地域の諸問題を協議し、行政や関係機関に働きかけを行い、問題解決に向けて活動して参ります。地域課題等、ご相談やご意見を横越コミ協までお寄せくださいます様、お願い申し上げます。

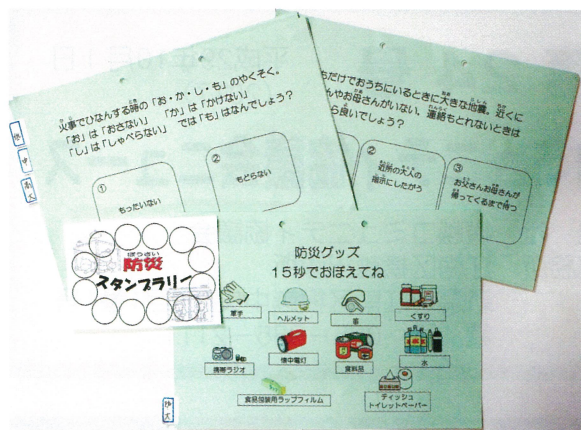
「コミ協副会長就任と 防災士としての活動」

副会長 小野塚 智恵子

今年度、横越コミ協副会長に就任しました小野塚（横越中学校父母と教師の会副会長）です。

縁あってコミ協役員になり、様々な地域の課題があることを知りました。そして、それらをコミ協と行政とが連携し、解決・改善に向け取り組んでいることも知りました。私も微力ながらお手伝いさせていただいております。

また、子育て中の保護者という立場から、子育て環境の改善、住み良い横越にしていけたらと日々感じています。一小一中の強みを活かし、学校・地域・行政を繋ぐ橋渡しになれたらと思います。



防災スタンプリレー



防災クイズ

素晴らしいことに、横越地区には、五名の防災士がおり、昨年私も資格を取ることができました。その方々と一緒に「地域防災のために何かできる事はないだろうか？」という中、八月二十二日のコミ協主催の「楽しく学ぶ防災の日」に防災士チームとして参加しました。

『自助・共助・公助』防災の基本は『自助』です。自分の命は自分で守る。いざという時、自分の身を守るためにはどんな行動をとったら良いかを知る。そんな思いからスタンプリレーを企画しました。目印をつけた防災士を探し出し、出題されるクイズを解き、正解するとスタンプがもらえ、スタンプが集まるとくじ引きができ防災グッズが当たるという、おまけ付きの楽しい内容でした。

参加者からは「初めて知った！」「なるほど！」など様々な声が聞こえ

てきました。

また、洪水ハザードマップに自分の住んでいる所を探し、シールを貼ってもらうゲームも行いました。浸水時、どの位の高さまで水がくるのかを知る良い機会になったと思います。

まずは、自分の命を守ること（自助）で、次に家族・友人・隣人を助けに行くことができる（共助）。「救助される人」ではなく、「救助する人」が多い地域は、防災に強いともいえません。普段からの地域行事「お祭り」「運動会」「奉仕活動」などに参加するだけでも、防災力は上がります。横越コミ協としてもそんな活動のお手伝いをしていけたらと思っています。

自治会長になった感想

風間 東治

自治会長となり、まず住民の皆さんと意志の疎通と融和を図りながら、物事の達成の為に住民の方々の意見を良く聞いて、自分の考えはどうかと話す事を心がけています。住民の方々の協力無くして物事は出来ません。幸い、当自治会は実に協力的で、何事もうまく行っている自治会です。

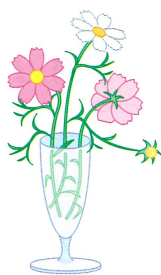
自治会長の役割に伴って様々な仕事があり、まず月に二回の回覧板がある時は全戸配布等を手配。保育園や小中学校の入園入学式、卒園卒業式の来賓。また、運動会や地域公民館の文化祭や子供神輿、賽の神、コミ協の各種イベント等、ほとんどの行事の相談や集会に関わることになりました。大変な面もありますが、これも自分の役目と思っています。

また、他の地区（藤山、うぐいす一丁目、二丁目）自治会とも連絡を密接にして関係を築くことを大切にしたいと思ひ、会う機会があればいろいろな情報交換をするよう心掛けています。

役所関係となると、会議や説明会、各種の申請、補助金等の書類を書くのが面倒なところが多くありますが、窓口の親切な対応に感謝しています。



炊き出しの試食



水郷の花嫁さん

坪谷 さゆり

阿賀野川と小阿賀野川の豊かな恵みを受け、美しい田園風景が広がる横越地区。しかし過去には、何度も「川切れ」を経験した哀しい歴史があることを皆さんはご存じだったでしょうか。

さて、田んぼの水鏡も緑の苗が植えられ爽やかな風が吹きわたる頃に、横越コミ協は第四回目になる「水郷の花嫁さんは舟で行く」を開催いたしました。

当日は大変風が強かったのですが、満願寺水門付近で乗船する頃は徐々に天候は穏やかになり、花嫁さん花婿さんを無事に木津の船着き場へと運んでくれました。江南区の米山区長もお忙しいなか来てくださいました。本当にありがとうございました。



大勢からの祝福



人力車の送迎

結婚式場の北方文化博物館では、主役の二人が人力車に乗って、カメラマンの方々の細やかな注文に笑顔でこたえてポーズをとっていました。お疲れだったでしょうに、頭が下がります。博物館内で行われた式は、とてもシンプルで素敵な人前結婚式でした。歴史を感じられる建物での式は、日本文化を垣間見たようで感激いたしました。

式が終了の頃には、船頭さんもちちらに來られてホッとしていたようでした。いちばんの見せ場のサポート、ありがとうございました。

それから人力車は、今回もカッコ良かったですよ！ご苦労様でした。主役のお二人には末永く幸せにと願い、会場を後にいたしました。

とても小さな川ですが、この地区の人々の生活になくてはならない大事な「川」だったのですね。

ここにもひとつ、日本の原風景がありました。

江南区地域の茶の間

「お〜うん」を開催して

山本 美幸

今年三月から開催している、新潟市地域包括ケア推進モデルハウス江南区地域の茶の間「お〜うん」。とても長い名前ですが、いわゆる新潟市江南区代表の地域の茶の間の運営を行っております。「地域の茶の間」と聞くと高齢者が対象と思われるかもしれませんが、ここは老若男女だれでも利用でき、交流できる場所です。

昔は地区ごとに寄り合いや茶のみ場などがありました。その場所へ行けば、地域の皆さんと話し、誰がどんなことで困っているのかなどが聞けたと思います。しかし、現代では様々な変化によりそのような場所が減り、「お互いに」という言葉もあまり聞かなくなってきたように感じます。

例えば、健康や経済的などの困りごとがある時、いきなり知らない人に話すことは出来ないし、どこに相談すればいいのか分からない。でも、このような場所に定期的が集まって交流していくうちに、自然といろんな話が出来、それぞれの困りごとについて相談のことが出来るようになります。小さな困りごとは「お互いさまの心」「人と人とのつながり」で解決できることもあります。

「お〜うん」開設にあたり、ボランティアの皆さんと「何のために、誰のために、自分自身のために」を理解し

て運営することや、そのための工夫を話しました。もちろん、万人が賛同することはありませんし、自分達が今出来る事を出来る範囲で行っております。居心地の良い空間、衛生面に気を付けた温かい食事の提供などをボランティアの皆さんと日々考えております。

開設から半年以上が経ちましたが、まだまだ改善する点や工夫すべきところがたくさんあります。少しずつではありますが新しい人との出会いがあったり、夏休みには地元の子どもたちも遊びに来てくれたりして楽しい居場所になっております。

これからも楽しい催し物や健康面の相談会など、民間の団体と行政との協働と連携も行いながら、どなたでも来れるようにし、地域の皆さんと楽しんでいきたいと思っております。



毎週火・木曜日 午前10時～午後3時開催

コミュニティ協議会の事業は新潟市の補助金を受けて実施しています。

平成29年度 横越コミュニティ協議会 委員名簿

役職等	氏名	部会	所属団体等	役職等	氏名	部会	所属団体等
会長	佐藤 正明		木津自治会	監事	今井 護	まちづくり	二本木自治会
副会長	小野塚智恵子	教育文化	横越中学校父母と教師の会	監事	高橋 博	健康福祉	沢海区会
副会長	田村 唯次	健康福祉	横越スポーツ振興会	協議委員	石山 晶	健康福祉	横越新田自治会
運営委員	石井久以知	まちづくり	横越商工会	協議委員	熊木 惣衛	まちづくり	横越美浦交流協会
運営委員	今井 英樹	まちづくり	木津自治会	協議委員	石倉 栄一	教育文化	藤山・駒込・うぐいす自治会
運営委員	今井麻奈美	教育文化	小杉ハッピーステーション	協議委員	小舟戸啓吾	まちづくり	小杉自治会
運営委員	風間 東治	まちづくり	藤山・駒込・うぐいす自治会	協議委員	齋藤 勝利	健康福祉	横雲ニュータウン自治会
運営委員	小林 良成	教育文化	横越小学校 P T A	協議委員	佐藤 正男	教育文化	小杉自治会
運営委員	佐藤 東	教育文化	横越新田自治会	協議委員	谷井 十二	健康福祉	老人クラブ連合会横越地区協議会
運営委員	渋谷 剛	教育文化	二本木自治会	協議委員	中村 吉作	まちづくり	横越上町自治会
運営委員	坪谷さゆり	教育文化	公募委員	協議委員	高橋達一郎	健康福祉	横越東町自治会
運営委員	長谷部一裕	まちづくり	横越異業種交流会	協議委員	中村 正孝	教育文化	沢海区会
運営委員	本田 哲夫	健康福祉	川根谷内自治会	協議委員	松本 里志	教育文化	茜ヶ丘自治会
運営委員	本間 儀徳	健康福祉	横越地区民生委員児童委員協議会	協議委員	目黒 幸子	健康福祉	横越連合婦人会
運営委員	山本 美幸	健康福祉	N P O えんではよごし	協議委員	米木 昭衛	まちづくり	横越東町自治会
相談役	神田 勝郎		元横越コミュニティ協議会長	相談役	本間 一人		前横越コミュニティ協議会長

雑筆

副会長 田村 唯次

この度の原稿依頼を受け、はて何を書こうか困ってしまった。そういえば俺は、日々の生活の中で何を感じ、何を考えているんだろうか。自分の事で申し訳ないけど、文字にしてみることにしました。

今年四月に還暦を迎えました。六十歳と自分で言う抵抗感は、四十歳になった時よりありました。でも慣れてくると楽になります。世間でいう、人生の下り坂に入ったって事でしょかね。

五月に、人生初の入院を経験しました。たった四日の入院でしたが、家族の期待に応える形で、四十年吸ってきたタバコを止める事が出来ました。一日三箱のヘビースモーカーだったのに、自分でもビックリです。なせばなるものですね。

親の介護をして、孫の成長を見て、気付くことがあります。自身の老いです。親から生まれ、子から孫までつなぐ事が出来た事に、幸せを感じます。これからの人生は、家族も地域も仕事も、次の世代に何を残し、何をつなぐのかを大切に考えて進もうと思えます。

若い人に一言。「役が人を作る」といいます。失敗を恐れず、責任ある立場を経験して下さい。成長しますよ。NHKの朝ドラ「ひよっこ」。とて

編集後記

もいいドラマですね。思わず笑える場面が多いのもいいんだけど、何といても、人の気持ちを大切にしたいドラマです。自分の気持ちと相手の気持ちと周りの気持ちと、わかりやすく表現した優しいドラマで、朝にふさわしく素晴らしいです。とりとめなく長くなるので止めますが、これからも、人生下り坂を楽しもうと思えます。

黄金色に輝いていた田んぼの稲もすっかり刈られ、秋の色が濃くなって参りました。

結婚を機に、この地に住み始めて二年目。季節ごとに色とりどりの表情を見せてくれるこの横越という地域が、わたしは大好きです。

子どもたちが生まれ、成長を見つめる中で、ふと思うことがあります。それは、この子たちがいつかこの地を離れたとしても、「帰りたい」と思える場所でありたい。それが心の居場所となる故郷であり、わたしたち大人がまちづくりをする目的なのではないかと思ふのです。

そう思えるまち「横越」であられるように、微力ながらお手伝いさせていただきます。

平成二十九年十月
今井 麻奈美